

## 「協働」テーマに まちづくり模索

県庁で推進大会

とちぎ協働推進大会が2018(県、とちぎボランティアNPOセンター主催)が5日、県庁で開かれた。県内のNPO法人や自治体関係者ら約150人が参加し、協働によるまちづくりなどについて考えた。静岡県を中心に環境改善活動などに取り組んでいるNPO法人グラウンドワーク三島専務理事の渡辺豊博氏が基調講演した。



協働の在り方について話す渡辺氏＝5日午後、県庁

「右手にスコップ、左手に缶ビール」という活動理念を紹介し、「現場で汗を流す市民を企業や行政が支援し、地道に問題解決を目指す」など話した。

「右手にスコップ、左手に缶ビール」という活動理念を紹介し、「現場で汗を流す市民を企業や行政が支援し、地道に問題解決を目指す」など話した。

テーマ別の分科会も開かれ、「とちぎの次代を担うこれからの協働」「協働を推進する人材の育成」などについて、参加者が現場での課題などを挙げながら議論した。